

日本繊維機械学会 東海支部 共催行事 2021年度セミナー

産地とデザイナーを結び付け、繊維に関わるすべてのことを思いつくままに実行し、アパレル業界・繊維業界に新しい種をまき続けているファッションキュレーター、宮浦晋哉氏。今、その活動は大変注目を集めています。多くの新進気鋭のデザイナーたちに慕われ、ファッションを志す若い人たちを強力に後押し、彼を知らない人の方がめずらしい。現在、尾州産地にも多くのデザイナーが足を運ぶようになりました。

宮浦氏から見た尾州の素材はどう映っているのか。どのように見せたらもっと魅力的になるのか。デザイナーは今、何を求めているのか。既存の販売チャンネルではない、日本のものづくりに新たなストーリー、そしてファッションに新しい風が吹いています。

アフターコロナを見据え、始動し始めましょう。是非、ご参加お待ちしております。

【日時】2021年12月14日（火）13:30～15:00

【会場】岐阜毛織会館／テキスタイルマテリアルセンター（岐阜県羽島市竹鼻町蜂尻 448 番地）

【主催】岐阜県繊維デザイン協会

【共催】日本繊維機械学会東海支部、日本毛織物等工業組合連合会、尾州テキスタイルカレッジデザイナー協会、岐阜県産業技術総合センター、一宮地場産業ファッションデザインセンター

【内容】

「繊維産業をもっと良くしたい！～日本の産地と若手デザイナーの架け橋～」

株式会社系編（セコリ荘、産地の学校）代表取締役 宮浦 晋哉氏

<講師プロフィール>

ロンドンカレッジオブファッションに留学後、産地企業を飛び回り、2013年に書籍を出版。日本のものづくりの発展と創出を目指すキュレーション事業“セコリ荘”を東京・月島にオープン。繊維ファッション業界の人材育成を目指す“産地の学校”を開校。年間200社～250社の産地企業を訪れ、様々なプロジェクト活動を行う。特に若手デザイナーブランドへのアプローチが大切として、日本の素晴らしい生地に触れてこなかったブランドに届けることに時間を割きたいと心意気を語る。

【参加費】無料

【申込締切】2021年12月10日（金）

【問合せ・申込先】岐阜県繊維デザイン協会事務局（岐阜県毛織工業協同組合内）山田

TEL 058-391-8511, FAX 058-391-8512, E-mail: gikekou@estate.ocn.ne.jp

【チェックイン票】下記のとおり、本講座を受講いたします。

FAX : 0 5 8 - 3 9 1 - 8 5 1 2

企業名			
氏名		部署・役職	
氏名		部署・役職	
電話	()	—	
FAX	()	—	E-mail